

# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉

R2. 6. 10  
第2版

専用階段、専用トイレの確保をする。（専用階段について、確保が難しい場合は、時間的分離・消毒等の工夫をした上で兼用することもあり得る。健康な人との兼用は不可。）

専用スペースと専用トイレ、独立した動線を確保できない場合は、濃厚接触者専用避難所を別途開設することも考えられます。

**軽症者等（一時的）**

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決め、本人に伝えておくことが重要です。

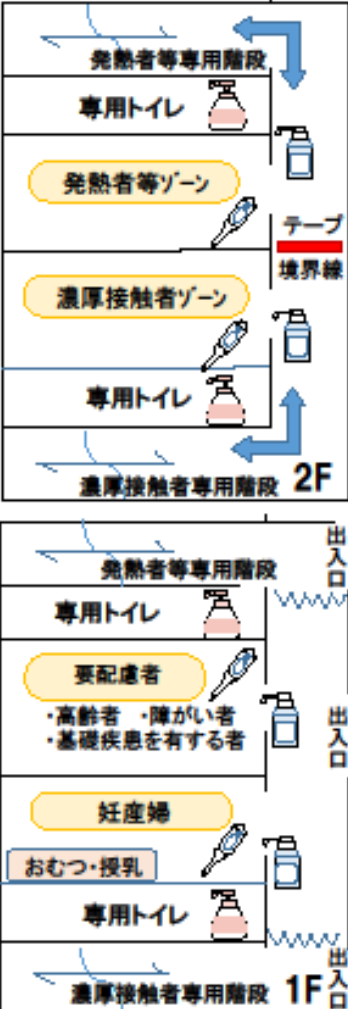
・軽症者等及び新型コロナウイルス感染症を発生したと疑われる人の対応については、防災担当部局と保健福祉部局等が十分に連携の上で、適切な対応を事前に検討する。

・軽症者等が一時的に避難所に滞在する場合、一敷地内の別の建物とする。

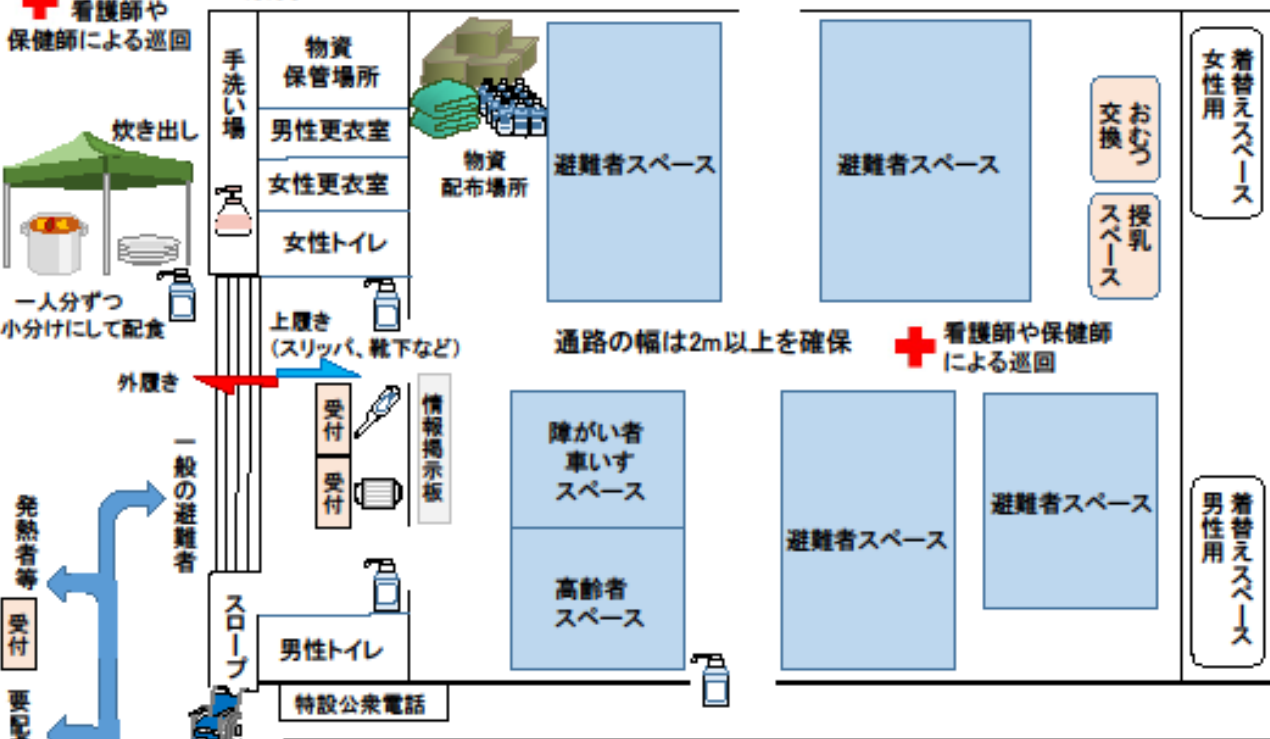
・同一建物の場合は、動線を分け、専用階段とスペース、専用のトイレ、専用風呂等が必要

※軽症者等であっても原則として一般の避難所に滞在することは適当でないことに留意する。

## <専用スペース>



## <集合スペース>



- ### 受付時でのチェック
- 避難者カードの記入
  - 発熱、咳等、体調の確認
  - 要配慮等の確認 など

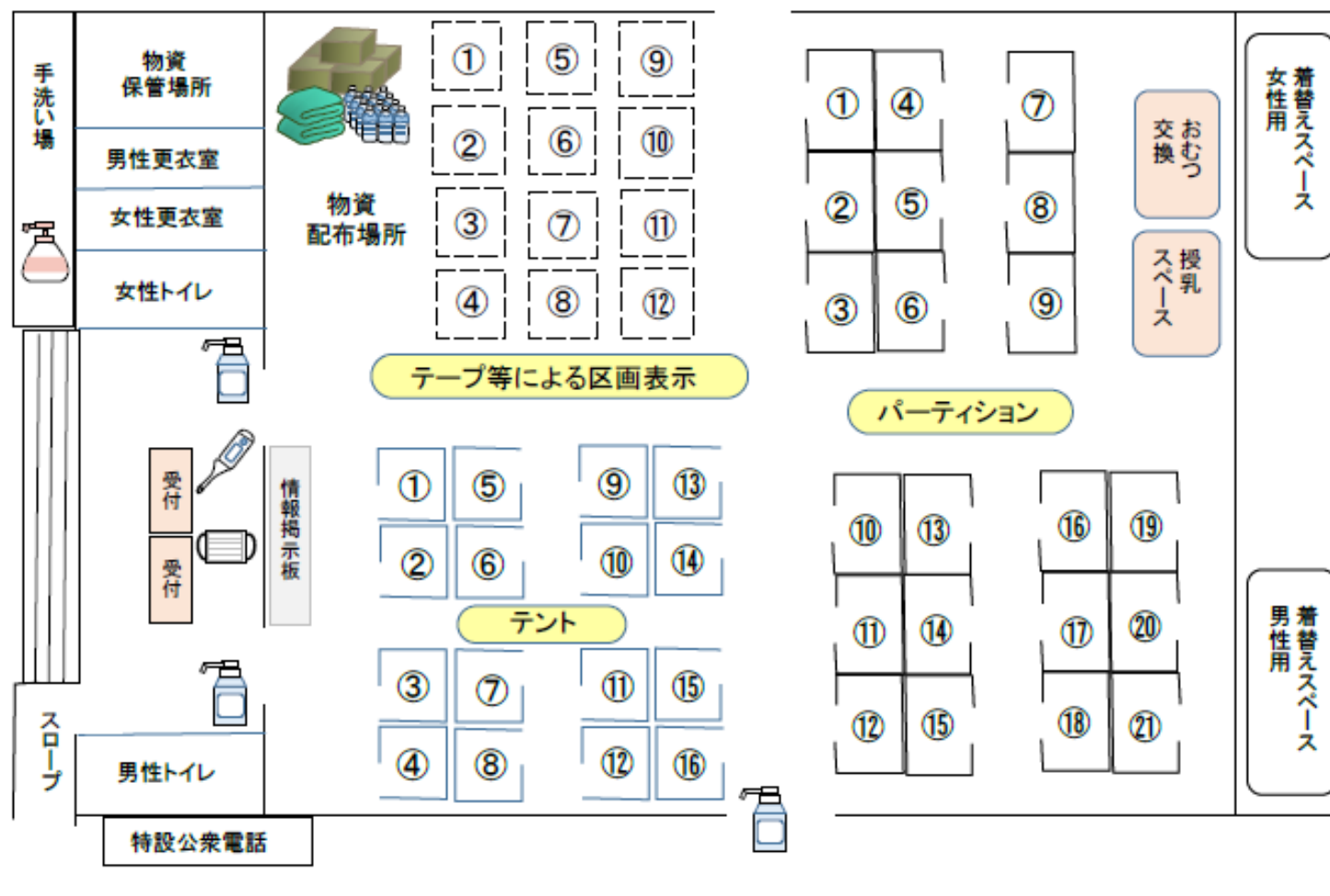
- ### 用意するもの
- ・体温計（非接触型）
  - ・マスク
  - ・アルコール消毒液（手指用）
  - ・次亜塩素酸溶液
  - ・ハンドソープ、ウェットティッシュ
  - ・フェイスシールド
  - ・ビニールシート
  - ・使い捨て手袋 など

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

## 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

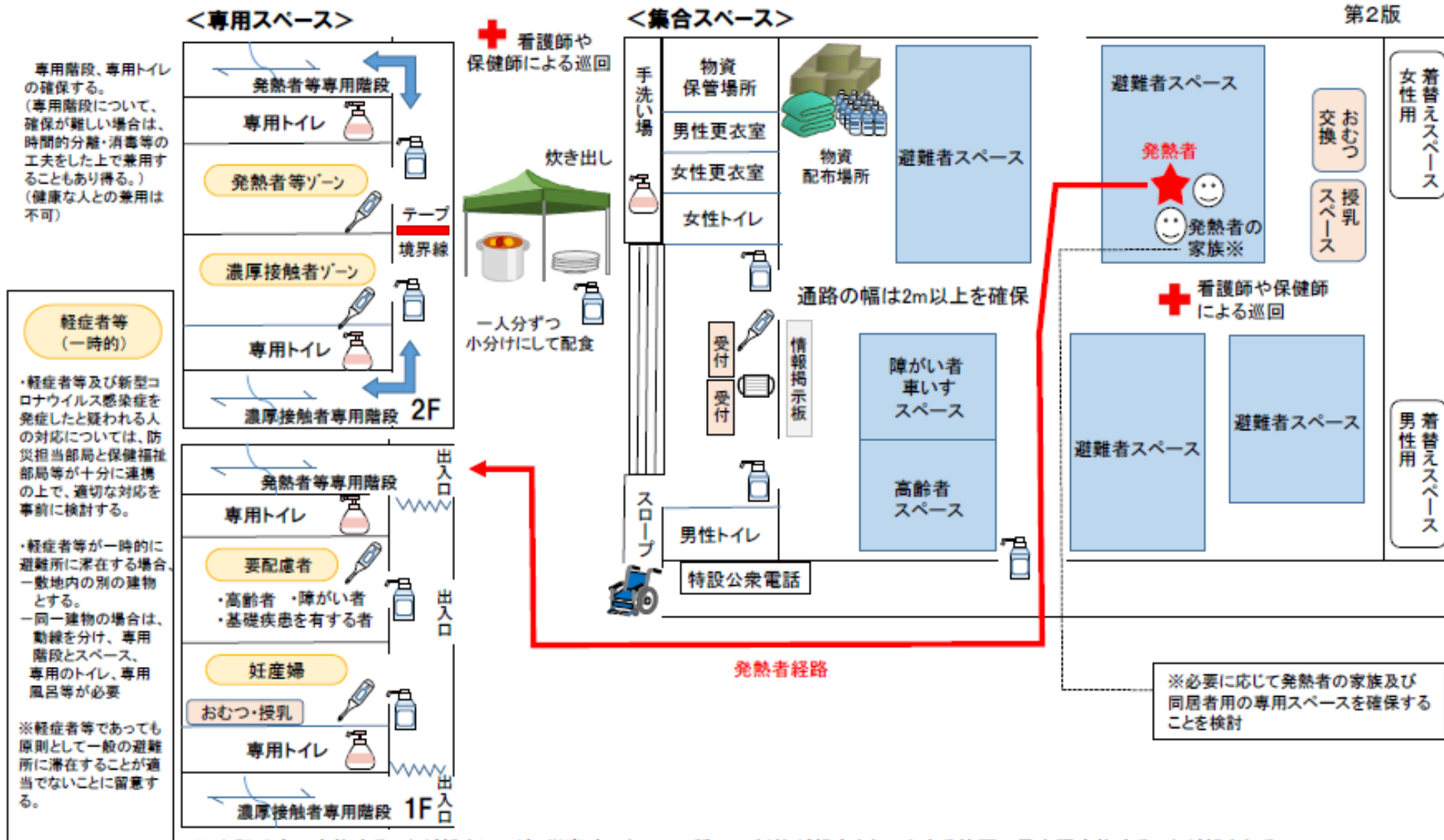
R2. 6. 10  
第2版

- テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト (例) <避難受付以降>

R2. 6. 10  
第2版



※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

## 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

テープ等による区画表示

(例)

- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
- 家族間の距離を1m以上あける

※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

テントを利用した場合

(例)

- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。

パーティションを利用した場合

○ 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

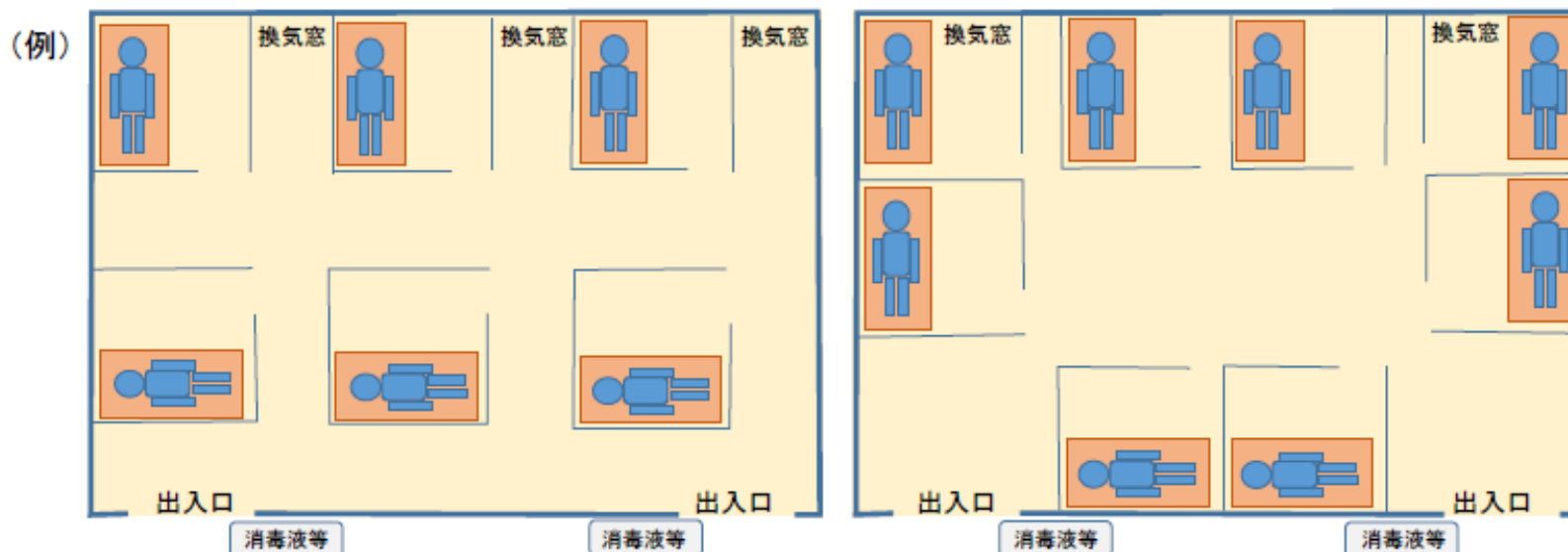
(例)

- ※ 人と人の間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。
- ※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人の距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。
- ※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

## 発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

R2. 6. 10  
第2版

- 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、それぞれ一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- 発熱・咳等のある人は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。  
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある人より優先して個室管理とする。
- 人権に配慮して「感染者を排除するのではなく、感染対策上の対応であること」を十分に周知する。



※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する場合がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。  
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、マスクを着用する。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

# 3つの「密」を避けましょう!

①換気の悪い  
**密閉空間**

②多数が集まる  
**密集場所**

③間近で会話や  
発声をする  
**密接場面**

新型コロナウイルスへの対策として、**クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。**  
日頃の生活の中での「密」が重なるといよいよ大発生します。

3つの条件がそろった場所が  
**クラスター(集団)発生の  
リスクが高い!**

※3つの条件のほか、**共用で使う物品**には  
消毒などを行ってください。

首相官邸 厚生労働省 厚生省 コロナ 対策

感染症対策へのご協力をお願いします

# 咳エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

■ほかの人にうつさないために  
くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかもしれませんが、次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ・**マスク**を着用します。
- ・ティッシュなどで**鼻と口を覆います。**
- ・とっさの時は**袖や上着の内側で覆います。**
- ・周囲の人から**なるべく離れます。**

3つの咳エチケット 電車やバス、学校などで人が集まるところでやる

マスクを着用する (口を開く) ティッシュやハンカチで口を覆う 袖で口を覆う 咳やくしゃみをする時、周囲の人から離れる

正しいマスクの着用

- 1 鼻と口の両方を完全に覆う
- 2 鼻の橋をしっかりと覆う
- 3 顔が露出しないよう密着させる

首相官邸 厚生労働省

## 手洗いで感染症予防

手指消毒薬

流水で手洗いができない場合には、**アルコールを含んだ手指消毒薬**を使用しましょう。

手指消毒の手順

出典：「日本環境感染学会教育ツールVer.3.1.1より引用」

- 1 清潔な流水を手のひらにかけ、流水を流す。
- 2 流水を流しながら、手のひらと手の背を洗う。
- 3 手のひらと手の背を洗った後、指の間、指の隙間、指の隙間、指の隙間を洗う。
- 4 手のひらと手の背を洗った後、指の間、指の隙間、指の隙間を洗う。
- 5 指の間、指の隙間を洗った後、親指と手のひら、親指と手のひらを洗う。
- 6 親指と手のひら、親指と手のひらを洗った後、親指と手のひら、親指と手のひらを洗う。
- 7 親指と手のひら、親指と手のひらを洗った後、親指と手のひら、親指と手のひらを洗う。
- 8 親指と手のひら、親指と手のひらを洗った後、親指と手のひら、親指と手のひらを洗う。
- 9 親指と手のひら、親指と手のひらを洗った後、親指と手のひら、親指と手のひらを洗う。
- 10 親指と手のひら、親指と手のひらを洗った後、親指と手のひら、親指と手のひらを洗う。
- 11 親指と手のひら、親指と手のひらを洗った後、親指と手のひら、親指と手のひらを洗う。

とくに**食事前や調理前、トイレ使用後は手洗いを!**

NIID 国立感染症研究所

## 食中毒・感染症を防ぐ! 衛生的な手洗い

- 1 流水で手を洗う
- 2 洗剤を手に取る
- 3 手のひら、手の背を洗う
- 4 手の甲、手の背を洗う
- 5 指の間、指を洗う
- 6 親指・指を洗う
- 7 指先を洗う
- 8 手首を洗う
- 9 洗剤をよく洗い流す
- 10 手を拭き乾かせる
- 11 アルコールによる消毒

2度洗いが効果的です!

食中毒・感染症を防ぐ! 衛生的な手洗い

次の症状がある場合は  
すぐにスタッフにお知らせください

- 熱がある。または熱っぽい。
- 息苦しさ、強いだるさ、高い熱等の強い症状がある。
- 発熱やせきなどのかぜ症状がある。
- せき、鼻、のどの痛みなどがある。
- 全身がだるい、寒気がする、頭が痛い、関節が痛い、筋肉が痛いなどのインフルエンザ症状がある。
- 血がまざったたん(痰)が出る。
- からだにぶつぶつ(発疹)が出ている。
- ぶつぶつが出ていて、かゆみや痛みがある。
- くちびるや口のまわりにぶつぶつが出ていて痛みがある。
- 首がかたい感じがしたり、痛みがある。
- げり(下痢)をしている。
- はいた(吐いた)またははき気(吐き気)がある。
- おなかが痛く、便に血が混じっている。
- 目が赤く、目やにが出ている。
- キズがあり、うみ(膿)が出たり、はれて(腫れて)いたりしている。

あくまでも症状の一例です。  
体調に不安がある場合は、スタッフにご相談ください。

記入日 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_

## 健康チェックシート(例)

※当日(現在)の体調を記入し、受付でご提出ください。

### ■基本情報

かな	受付で計測した体温
氏名	℃

### ■感染症に関する項目

新型コロナウイルス感染症の感染が確認されている人の濃厚接触者で、現在健康観察中ですか	はい いいえ
--	--------

### ■体調に関する項目

発熱や風邪の症状が続いていますか ( 日前から約 ℃)	はい いいえ
ひどい咳やたんはありますか	はい いいえ
嘔吐や吐き気はありますか	はい いいえ
下痢はありますか	はい いいえ
息苦しさはありますか	はい いいえ
強いだるさ(全身の倦怠感)はありますか	はい いいえ
味や匂いを感じられない状態ですか	はい いいえ

### ■持病や配慮すべき項目

糖尿病、心不全、呼吸器疾患などの基礎疾患がありますか	はい いいえ
妊娠していますか	はい いいえ
乳幼児がいますか	はい いいえ
介護や介助が必要ですか	はい いいえ
その他、心の面も含め気になる体調の変化や配慮を要する事項は ありますか (内容 )	はい いいえ

